



# 認知症を 観る・診る・看る

## 講演内容

現在本邦には約500万人の認知症患者がおり、2025年には少なくとも700万人に上ると予想されています。認知症の原因疾患でもっとも多いのはアルツハイマー病で、5～6割を占めます。2番目は血管性認知症で約2割です。両疾患を含め認知症の原因疾患の大部分には根本治療薬がありません。従って医学・福祉はもちろんのこと、家庭や職場、地域社会を含めた総合的な取り組みが求められています。本講演では本邦における認知症の現状、症状の特徴、ケアにおける問題点、さらには近年社会的問題となっている高齢者の自動車運転免許について解説します。

## 日時

令和3年 **5月29日**(土)

15時00分～16時30分(90分)

視聴可能期限 5月31日(月)12時

**対象** どなたでもご参加できます。

**お申込み** 以下のURL又はQRコードからお申し込みください。

<https://aiit.doorkeeper.jp/events/120760>

**募集期間** 令和3年5月29日(土)13時まで

**開催形式** Web開催(お申し込みされた方には講演当日14時にYouTubeのURLをご連絡いたします。)

**費用** 無料

|主催| 東京都立産業技術大学院大学

|お問い合わせ| 東京都立産業技術大学院大学 管理部管理課OPI 企画運営係 (opi@aiit.ac.jp)

※フォーラム当日(29日)のお問合せは17:45までとなります。

※また、大変申し訳ございませんが日曜日にはお問い合わせに対応することができませんので、ご了承ください。



講師 佐藤 正之氏

東京都立産業技術大学院大学  
特任教授

相愛大学音楽学部器楽科を卒業し、大阪の府立高校の音楽教諭を経て、三重大学医学部に入学。卒業と同時に同学の神経内科学講座に入局。三重大学医学部助手、東北大学大学院医学系研究科高齢者高次脳医学講座の准教授、三重大学大学院医学系研究科認知症医療学講座の准教授を経て、令和2年8月から現職。脳神経内科専門医、認知症専門医、内科認定医。医学博士。専門は、神経心理学、ニューロサイエンス、認知症医療学、音楽療法。「音楽療法はどれだけ有効か：医学的根拠を検証する」(化学同人)、「現役医師：この仕事で大事なこと」(22世紀アート)など、著書・共著多数。

お申込み  
QRコード

